

# 科学の世界（世界史×英語）

令和7年10月7日

## 授業振り返りから

国家間での通訳は国家の命運を左右するので大変だと感じた。	歴史というものは見る立場によって大きく変わるからこそ、それぞれにとつての解釈を見比べて、誤解のない「正しい歴史」を残しておくことが大切なのではないかと感じました。	言葉の受け取り方はそれぞれの状況や環境によって異なることがあることを学んだ
英語と歴史のコラボ授業は初めて受けた、とても興味深かったし、日本語と英語で同じものや言葉を表現するのは難しいなと思った。今後海外で話すことなどがあったら十分な注意が必要だと分かった。	日本語と英語との間で、言葉の違いがとてもあることに驚いた。言語の違いで、物事の進み方が大きく変わることもあるので、気を付けたいと思った。	異文化間でのコミュニケーションはすれ違いがたびたび起こるので難しく、細心の注意を払う必要があるなと感じた。
翻訳の仕方によって歴史が変わったことが分かり、興味深かった。	同言語でも発言者の意図を完璧にとるのは難しい中で、翻訳を通して理解を深めようとして力がつくった。	歴史と英語ってなんの関係があるんだろうと思ったけど、実際授業を受けてみて面白いつながりがあるんだとわかった。翻訳者の単語ひとつで世界が変わるものだと感じた。
翻訳の仕方によって歴史が変わったことが分かり、興味深かった。	同言語でも発言者の意図を完璧にとるのは難しい中で、翻訳を通してうえでの意思伝達の難しさを感じた。公的な立場で責任が伴うと、なおさらだとも思った。	歴史と英語ってなんの関係があるんだろうと思ったけど、実際授業を受けてみて面白いつながりがあるんだとわかった。翻訳者の単語ひとつで世界が変わるものだと感じた。
今回の授業で、外国と日本の感覚の違いについて学んだ。	ほかの人の回答も見ることで、より深く問題について考えることができてよかったです。	日本と外国の言語文化は違うからこそ、どのようなところが一緒なのか、またニュアンスの違いは何なのか、いろいろなところに注意を払いながらコミュニケーションをすることが大切だがやはり難しいのだと感じた。国の文化やその背景について学び、できる限り誤解のない良い会話ができるようにしていく力が重要だと思う。
今日は、初めての試みであったが、クラスのそれぞれの意見が表示されるのは、とても面白かった、実際に当時の声明を自分で考えることは、一つ一つ	ほかの人の回答も見ることで、より深く問題について考えることができてよかったです。	日本と外国の言語文化は違うからこそ、どのようなところが一緒なのか、またニュアンスの違いは何なのか、いろいろなところに注意を払いながらコミュニケーションをすることが大切だがやはり難しいのだと感じた。国の文化やその背景について学び、できる限り誤解のない良い会話ができるようにしていく力が重要だと思う。
今までの歴史の授業では外国との交渉などをすべて日本語で学んでいたが、実際には日本語と外国语との翻訳が行われていることを実感した。翻訳をする際に、実際に伝えたい内容よりも過激になってしまったり、内容の意味が曲がってしまうたりしていたことを知	言語の違う人の意思疎通のなかでは互いの文化観、価値観の違いによって表現などが曲解されることがある。互いの背景や文化を鑑みて意思疎通することが重要だ	日本語から英語に翻訳するということは言語の壁を超えるということであり、相手の文化や価値観、おかれている立場などそういうものがすべて関係しているということが分かった

今までの歴史の授業では外国との交渉などをすべて日本語で学んでいたが、実際には日本語と英語との翻訳が行われていることを実感した。翻訳をする際に、実際に伝えたい内容よりも過激になってしまったり、内容の意味が異なってしまったりしていたことを知り、翻訳の難しさやもっと言えば外国との交渉の難しさを学ぶことができた。

英語を学ぶとき、それを学ぶだけでなく、それを使うネイティブスピーカーの心情や、その他文化的な背景も理解しておく必要があると感じた。それでこそ「コミュニケーション」だと思う。

英語を学ぶとき、それを学ぶだけでなく、それを使うネイティブスピーカーの心情や、その他文化的な背景も理解しておく必要があると感じた。それでこそ「コミュニケーション」と思う。

日本の価値観であいまいな発言をしてしまうと外国にどんな訳や捉え方をされてしまうのかがわからないので気を付けたいと思った。相手の価値観も考えることが大切だと思った。

れてしまうのかがわからないので気を付けたいと思った。相手の価値観も考えることが大切だと思った。

今日の授業を通して、翻訳を通して意味や言葉の強さが大きく変わるために、とても難しいと思いました。今後の生活でも気をつけたいです。

多言語に翻訳するときにそれぞれに多くの意味を含みニュアンスがあると思うので、難しいところがある反面、様々な表現ができると思った。誇張したり、表現を控えたり、いろいろ工夫

#### これが重要な点

日本語と英語で訳したりするときにニュアンスの違いで語弊が生まれてしまうことがあるしっかりと見極めたいと思った。

言葉は同じような意味でもニュアンスが違ったり強い言葉になったりすることが分かった。戦争は武力だけでなく言葉の戦いでもあることを痛感した。言葉は発せられる度二度と戻ってこないので、きれいな言葉を使って人と分かち合えるような気高い人間でいたいと思った。

日本は向じよ、アメの意味でヒューマンが違ったり強い言葉になったりすることが分かった。戦争は武力だけでなく言葉の戦いでもあることを痛感した。言葉は発せられる度二度と戻ってこないので、きれいな言葉を使って人と分かち合えるような気高い人間でいたいと思った。

言語を超えてコミュニケーションをとるとき、自分が思っている以上に言いたいことは正しく伝わっている訳ではないことが分かった。今回出てきたポツダム宣言のように誤訳から取り返しのつかないことになってしまったことを防ぐためにも、正しい英語を学びたいと思った。

るとき、自分が思っている以上に言いたいことは正しく伝わっている訳ではないことが分かった。今回出てきたポツダム宣言のように誤訳から取り返しのつかないことになってしまったことを防ぐためにも、正しい英語を学びたいと思った。

日本語と英語には完全な互換性がないために、どちらかの言語の話者が思ってもよらなかった捉え方をされることがあり、完璧な翻訳というのほどても難しいのだと分かった。だからこそ、違う言語を話す者同士での大切な話は、慎重に行わなければならぬと分かった。

日本語から英語に翻訳するということは言語の壁を超えるということであり、相手の文化や価値観、おかれている立場などそういうものがすべて関係しているということが分かった

日本語でも無視する、黙殺する、見向きもしないなど様々な言葉があり思うようなことが伝えられないのに、他言語、ましてや戦時中など正確に発言の意図を伝えるのは難しいことだなと思った。

語、ましてや戦時中など正確に発言の意図を伝えるのは難しいことだなと思った。

とても面白く感じました。

自分たちの国の伝えたい思いのまま相手国に伝えることはかなり難しいことが分かった。言葉一つで結果が変わったかもしれないと思うと大事な決定に関する発言はしっかりと言葉のニュアンスを知っておくことが大切と思った。

手国に伝えることはかなり難しいことが分かった。言葉一つで結果が変わったかもしれないと思うと大事な決定に関する発言はしっかりと言葉のニュアンスを知っておくことが大切と思った。

普段はあまり言葉を選び取って使うということはしていません。ちょっとしたニュアンスの違いで受け取り方に大きな差があるため考えて言葉を使いたいと思いました。そうすれば日常をより楽しく過ごせるとも思います。

言語の壁を一つ越えるだけでも伝えた

今日の授業を通して、翻訳を通して意味や言葉の強さが大きく変わるために、とても難しいと思いました。今後の生活でも気をつけたいです。

多言語に翻訳するときにそれぞれに多くの意味を含みニュアンスがあると思うので、難しいところがある反面、様々な表現ができると思った。誇張したり、表現を控えたり、いろいろ工夫のし甲斐があると思った。

うので、難しいところがある反面、様々な表現ができると思った。誇張したり、表現を控えたり、いろいろ工夫のし甲斐があると思った。

今回の授業を通して日本語と英語の訳し方の違いで、歴史を変えることもあるのだと知り、微妙なニュアンスの違いについてもっと興味がわきました。私自身、訳すとき注意するようにしたいです。

日本語は繊細で母国語話者でも解釈のミスをするのに多言語で翻訳するのは

いです。

日本語は繊細で母国語話者でも解釈のミスをするのに多言語で翻訳するのは困難だと思った。

訳し方一つ違うだけで、世界が大きく変わってしまうことが分かった。また、別の言い方で言えば、訳し方を変えるだけで、一つの国の運命を大きく握ってしまうことができるともいえる。新聞や他国がほかの人が気づかない形で意図的に拡大解釈したり違訳したりするところも、特有の風を教習したこと

のつかないことになってしまったことを防ぐためにも、正しい英語を学びたいと思った。

日本語と英語には完全な互換性がないために、どちらかの言語の話者が思ってもよらなかった捉え方をされることがあり、完璧な翻訳というのはとても難しいのだと分かった。だからこそ、違う言語を話す者同士での大切な話は、慎重に行わなければならぬと分かった。

各国文化は異なり、考え方の違いから

違う言語を話す者同士での大切の言語は、慎重に行わなければならぬと分かった。

各国文化は異なり、考え方の違いから言語にも差は生まれてくるため、両国の文化やその言葉のニュアンスを含めた上で翻訳する必要があるとわかった。特に政治においては、少しのニュアンスの違いが大きな行き違いに繋がり、国際問題となることもあるため、可能な状況ならば両国の通訳を複数人用意し、正確な翻訳をすることが求められる感じた。

り、国際問題となることもあるため、可能な状況ならば両国の通訳を複数人用意し、正確な翻訳をすることが求められると感じた。

私は、この授業で、英単語の繊細なニュアンスの違いによって、ネイティブの人々にはその文を作った人の意とは異なる解釈をされてしまう可能性があるのだと考えました。

異言語間での解釈の一致は難しく、解釈の違いが争いなどを起こしたりしてしまうことがあることを学んだ

スを知っておくことが大切と思った。

普段はあまり言葉を選び取って使うということはしていません。ちょっとしたニュアンスの違いで受け取り方に大きな差があるため考えて言葉を使いたいと思いました。そうすれば日常をより楽しく過ごせるとも思います。

言語の壁を一つ越えるだけでも伝えたいニュアンスがガラッと変わってしまうのが恐ろしいと思った。伝えたいことを母国語と違う言語で表す際には、様々な表現を使うことで誤解を招かな

言語の壁を一つ越えるだけでも伝えたいニュアンスがガラッと変わってしまうのが恐ろしいと思った。伝えたいことを母国語と違う言語で表す際には、様々な表現を使うことで誤解を招かなければいいようにしたい。

日本語を英語に翻訳するなど異なる二つの言語を翻訳するときには完全に同じニュアンスで表現することはできないのだとわかった。日本語では一つの言葉でも英語に訳すと多くの単語が存在したり、どれも少しずつ意味が異なったりしているので難しいと思った

つの言語を翻訳するときには完全に同じニュアンスで表現することはできないのだとわかった。日本語では一つの言葉でも英語に訳すと多くの単語が存在したり、どれも少しずつ意味が異なったりしているので難しいと思った

翻訳の難しさが垣間見える授業であった。

似たような意味の単語にもニュアンスの違いがあり、日本語と同じように、どれを使うかによって英文を読んだ人の理解度合いが変わることがある

変わってしまうことが分かった。また、別の言い方で言えば、訳し方を変えるだけで、一つの国の運命を大きく握ってしまうことができるともいえる。新聞や他国がほかの人が気づかない形で意図的に拡大解釈したり違訳したりすることで、特定の国を敵国として仕立て上げることができてしまう。言語のニュアンスの違いは恐ろしいと思った。相手の立場でも考えて、より客観的に見れるようにしたい。

あることに気がついた。

異言語間での解釈の一致は難しく、解釈の違いが争いなどを起こしたりしてしまうことがあることを学んだ。

異言語間でコミュニケーションをとるとき、実はニュアンスを読み取り切れなかつたりすることが改めてわかつた。だからこそ声色を変えたりジェスチャーをつけることによってお互いに気持ちよくコミュニケーションを図ればいいなと思った。

似たような意味の単語にもニュアンスの違いがあり、日本語と同じように、どれを使うかによって英文を読んだ人の印象を変えることができることや、報道の仕方を見ることで各国の関係を推察することもできると考えました。